

12. 上前後沢第2遺跡

所在地 小淵沢町字上前後沢4253-2

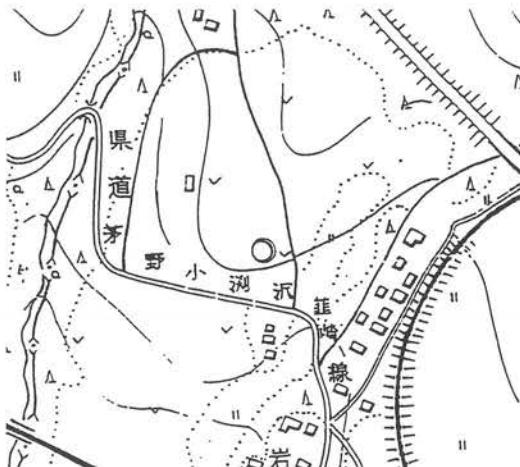
調査原因 個人住宅建設

調査期間 1998年7月1日～1998年7月13日

調査面積 494.16m²

調査主体 小淵沢町教育委員会

担当者 佐藤勝広



立地と経過 上前後沢第2遺跡は、甲六川東側の標高940m付近に位置する。現在は白樺が植えられている。

過去実施された調査の結果、縄文時代の土壙1基、おとし穴状遺構2基が確認されている。

調査の結果 住宅の建設に際し、掘削が予想される、建設部分について重機で表土剥ぎを実施し、調査を行った。その結果、弥生前期の単独埋甕を確認した。他遺物は、縄文中期の土器片、石器等が出土している。

13. 上八里田遺跡

所在地 小淵沢町字上八里田8041-1他

調査原因 畑耕作

調査期間 1998年7月31日～1998年8月17日

調査面積 3m²

調査主体 小淵沢町教育委員会

担当者 佐藤勝広



立地と経過 上八里田遺跡は、標高820mを測る台地上に位置する。今回、土地所有者である進藤光雄氏から畠を耕作中に陥没し、大きな穴が開いたので調査をしてもらいたいとの、問い合わせがあり、調査に至った。

調査の結果 調査は、陥没した穴の精査を中心に行った。その結果、穴は地下式土壙と判明し、土壙内から内耳土器片・かわらけ片・宝篋印塔の九輪部・石臼片・石鉢が出土した。調査後、地下式土壙は保護されることになった。



上八里田遺跡調査風景



上前後沢第2遺跡調査風景